

平成31年3月3日

市民活動発表会
成果集

平成30年度

市民活動発表会

ひとりひとりが
主役のまちづくり

輝く加東 まちづくりコンソーシアム

はじめに

まちづくりには、その主役となる「ひと」、ひとが営む日々の「暮らし」、そして、「ひと」や「暮らし」のステージとなる「まち」が重要な要素になります。

将来にわたって活力あるまちにしていくためには、まちづくりの主役となる「ひと」が、ふるさと加東への愛着や誇りとともに、夢や希望をもって、それぞれの個性を活かしながら活躍し、そして、地域と共に元気であり続けることが重要です。

加東市は、大学のあるまちの優位性を活かし、兵庫教育大学と行政、地域、団体、企業など様々な主体が連携・協働し、魅力ある地域社会の創造を目指す「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」を平成23年度に設立しました。

「輝く加東 まちづくりコンソーシアム」は設立以来、公共交通や公共施設の適正化について市民の皆さまからご意見を伺い、まちづくりについて考える機会を設けてきました。平成27年度からは市民活動発表会を開催し、加東市まちづくり活動費補助事業に認定された団体や様々なまちづくり活動に取り組まれている団体から、活動について発表していただいています。まちづくり活動への思いやその取組、活動を通して見えてくる課題などから、協働のまちづくりの大切さを認識していただき、市民や地域、行政などのそれぞれの役割について考えるきっかけにいただければと思います。

「市民活動発表会－ひとりひとりが主役のまちづくり－」に参加いただきました団体の皆さま、ご来場いただいた皆さまに紙面を借りて感謝申し上げますとともに、市民の皆さまが新たなまちづくり活動の主役として活躍されることを願います。

目次

1	開催概要	1
2	活動発表	3
3	総括	31
4	アンケート結果	33
5	おわりに	35
6	輝く加東 まちづくりコンソーシアムの紹介	37



1 開催概要

日時 平成31年3月3日（日）午後2時～午後4時

場所 滝野文化会館 大ホール

主催 輝く加東 まちづくりコンソーシアム

次第 ◆ 開 会

◆ あいさつ

加東市副市長 岩根 正

◆ 活動発表

<出演団体>

【一般コース】

・ 藪地域活性化プロジェクト 藤井 智大

・ 加東市パワーリフティング協会 笹倉 伯文

・ ソンクラーン実行委員会 黒田 正憲

【スタート応援コース】

・ けんこう笑会 大久保 武 小林 喜代治

・ NPO 法人ペイフオワード 日下 伸一

・ f の会 岡本 智恵美

・ 女性のための実践会議－OHIRUMA－ 植田 真由子

・ ふまねっとカフェ小島 松浦 千秋 井上 義則
友藤 艶子 辻 清美

【テーマ解決コース】

- | | | |
|---------------|------------------|------------------|
| ・三草ふれあい広場 | 樹梨 林三 | |
| ・Hook | 藤田 可奈恵
広岡 奈央未 | 高瀬 菜美
ちび伝の助 |
| ・鴨川地域に人を呼び込み隊 | 阿江 孝仁 | |
| ・社高等学校生活科学科2年 | 鈴木 萌日
依藤 菜鼓 | 三木 和可菜 |
| ・社高等学校生活科学科3年 | 河合 紀咲
中原 愛由 | 進藤 みさき
浜田 夢紀野 |

◆ 総括

輝く加東 まちづくりコンソーシアム 会長 荒木 勉

◆ 閉会

◇ ロビー 各団体活動内容のパネル展示



2 活動発表

団体名	藪地域活性化プロジェクト
代表者氏名	坂本 千里
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 地域活性化及び地域内外交流・地域 ICT 化計画達成に向けてのパソコン教室</p> <p><u>1. 内容</u> パソコン・タブレット・スマホ教室(初心者クラスから中級クラスまで) 参加人数：6から8人、開催日：月1回から2回程度(個人的には連続で実施)パソコンの基礎学習から地域における事務処理まで。インターネット接続による検索、ホームページで発信。</p> <p><u>2. 目的</u> 現在地区役員の中でパソコン等が使用出来る人が少なく、一部の人に負担がかかっているのが現状であり、今後資料作成、地域内外への案内、役所提出書類等全てというほどパソコン処理であり今後必須になる。近隣等も似たり寄ったりの現状があるようで、近隣も巻き込んでのパソコン教室を開催し地域交流も最終的にやりたい。</p> <p><u>3. 場所</u> 藪公民館</p> <p><u>4. 期間</u> 平成30年6月1日から平成31年3月30日まで</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u> 述べ人数 60名</p>
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> パソコンに全く触れる機会がなかった方に関心を持ってもらえた。 まずは、触れてもらうことから始め、段階的に実用してもらえるようになっていただきたい。 パソコン教室を通じて、地域交流が生まれた。地域の方々が交流する頻度が増加した。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定(活動の展開やメンバー、活動資金についてなど)</u> 当初の見積もりが甘く、予算取りが出来なかったため、講師の方には本当にボランティア精神で頑張って頂いた。活動的には、徐々に参加人数も増えてきて少しですが操作や資料作成等が出来つつあります。これを定期的で開催して、人材育成や地域活性化、コミュニケーション等につなげて行きたい。次回も続けて開催して行く予定である。希望としては、中古でも貸し出しのパソコンがあればと思う。</p>

藪地域活性化プロジェクト



パソコン教室の様子



発表者 藤井智大さん

藪地域活性化プロジェクト

発表者 藤井智大（同プロジェクトパソコン教室講師）

⑤活動により生まれた効果

- ▶ パソコンに全く触れる機会がなかった方に関心を持ってもらえた
まずは、触れてもらうことから始め、段階的に実用してもらえるようになっていただきたい
- ▶ 地域交流が生まれた
パソコン教室を通じて、地域の方々が交流する頻度が増加した



⑥今後の課題・展望

◆ 展望

- ◆ 講師不足の問題を解消し、月2回程度、定期的にパソコン教室を実施し、参加者が忘れてしまう前に次の授業を実施できるようにしたい
- ◆ 講師不足と貸し出し用PC不足の問題を解消し、多数の参加者にも対応できるようにしたい
- ◆ 現在の参加者の習熟度が上がった際には、新たな講師となっていただき、地域の参加者も募って実施できるようにしたい



地域活性化及び地域内外交流・地域ICT化計画の実現

発表資料より

団体名	加東市パワーリフティング協会
代表者氏名	笹倉 博文
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 加東トレーニングマガジン【タウン誌】</p> <p><u>1. 内 容</u> 加東市を中心としたトレーニングに特化したタウン誌の作成を行った。 アスリートはもちろんのこと、子どもや高齢者でも気軽に運動・トレーニングが始められるように、各施設を網羅して紹介。</p> <p><u>2. 目 的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のみなさんの健康づくりのサポート ・運動やトレーニングの普及 ・トレーニングネットワークの形成 <p><u>3. 場 所</u> 加東市内全域</p> <p><u>4. 期 間</u> 2018年4月1日 ～ 2018年11月30日</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 60施設・団体</p>
	活動の効果・今後の取り組み

加東市パワーリフティング協会



発表者 笹倉伯文さん

Make a healthy body

トレーニングでまちづくり

アスリート育成

ダイエット

介護予防

〒675-0221 加東市西蔵4007 ☎ 0795-48-2566
休 月曜日

〒677-0015 西蔵市西蔵790-15 ☎ 0795-22-5996
休 休館日 月曜日

〒675-1378 小野市王寺町917-1 ☎ 0794-62-7000
休 第4月曜日

〒677-0022 西蔵市寺内517-1 ☎ 0795-22-0072
休 月曜日

パワーリフティング・トレーニング | ボクシング・希勢区 | 舞・華 | ダンス | プール | その他

トレーニングタウン誌

団 体 名	ソングクラン実行委員会
代表者氏名	黒田 正憲
活 動 内 容	<p>活動テーマ・行事名 KATO ソングクラン</p> <p><u>1. 内 容</u> お水かけ祭り</p> <p><u>2. 目 的</u> こども達の活性化 他地域住民との交流 演奏者とのふれあい</p> <p><u>3. 場 所</u> ステラパーク</p> <p><u>4. 期 間</u> 平成30年6月1日から12月31日まで 実施日：平成30年8月11日(土)</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 232名</p>
	活 動 の 効 果 今 後 の 取 組 み

ソングライン実行委員会



発表者 黒田正憲さん



団 体 名	けんこう笑会
代表者氏名	大久保 武
活 動 内 容	<p>活動テーマ・行事名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会手品やクイズの習得 ・介護施設やこども園への訪問 ・各地区の行事に参加 <p><u>1. 内 容</u> 手品の披露や指導を通じ、ふれあいの場を広げる</p> <p><u>2. 目 的</u> 介護施設では入所者の方に、生きがいと元気を与え、こども園ではこどもたちに楽しさとやりがいを与える</p> <p><u>3. 場 所</u> 加東市内（各施設・イベント等） 河高地区敬老会、演芸会、コスモスまつり、河高こども園、加茂こども園、東条デイサービス、ケアホームかとう 等</p> <p><u>4. 期 間</u> 平成30年4月1日～平成31年3月12日</p>
	活 動 の 効 果 ・ 今 後 の 取 り 組 み

けんこう笑会



発表者 大久保武さん 小林喜代治さん

けんこう笑会

見 考 笑



団体名	NPO 法人 パイフオワード
代表者氏名	日下伸一
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 こども食堂</p> <p><u>1. 内容</u> 食事の提供・学習支援</p> <p><u>2. 目的</u> 居場所づくり・食事の提供・学習支援</p> <p><u>3. 場所</u> 社福祉センター</p> <p><u>4. 期間</u> 2016年11月26日～ 毎週土曜日</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 毎回20名前後</p>
	活動の効果・今後の取り組み

NPO 法人 パイフワード



発表者 日下伸一さん



団体名	やすらぎとまなびの親の会 fの会
代表者氏名	秋田 陽子
活動内容	<p>活動テーマ・行事名</p> <p>私たちは生きづらさを持ち悩んでいる子どもを持つ親が、悩みの共有・共感し、自己を見つめなおし、自分らしい生き方を学びつつ、ホッとできる居場所となるよう貢献できる団体となることを目指しています。</p> <p><u>1. 内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものことで今、抱えている問題などを話しながら保護者同士の交流 ・年1～2回不登校・発達障害などの講演・講座 ・リラックスできるようなワークショップ <p><u>2. 目的</u></p> <p>親たちが悩みの共有・共感し、自己を見つめなおし、自分らしい生き方を学ぶ</p> <p><u>3. 場所</u></p> <p>やしろショッピングパーク Bio 2F 多目的ホール</p> <p><u>4. 期間</u></p> <p>2018年4月～2019年3月</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u></p> <p>61名</p>
	活動の効果・今後の取り組み

やすらぎとまなびの親の会 fの会



発表者 岡本智恵美さん



団体名	女性のための実践会議 -OHIRUMA-
代表者氏名	植田 真由子
活動内容	<p>活動テーマ</p> <p>経営者のための団体や会は色々あるが、夜に集まりが開催されることがほとんどである。女性経営者は子育てや、家庭があると夜に家を空けられないことが多いため、そのような女性経営者のために、昼間に経営についての学びや交流の機会を設け、経営力の向上につなげていくための活動を、OHIRUMA（おひるま）と名付けて開催していく。</p> <p>行事</p> <p>①OHIRUMA女性経営カフェ ②OHIRUMA女性経営セミナー ③ランチミーティング</p> <p>1. 内容</p> <p>①女性経営者の方に、ご自分の経営について語って頂き、その後参加者で感想など意見交換をする。</p> <p>第1回 平成30年11月10日 10:00～12:00 講師 エムアンドワイオートジャパン 代表取締役 桃井智子氏</p> <p>第2回 平成31年2月2日 10:00～10:50 講師 office は一とぼいす 代表 藤本志津恵氏</p> <p>②会計、広報活動など、経営に直接役に立ち、すぐに実践につなげられる講義を、専門の方に講師をお願いし、していただく。</p> <p>第1回 平成30年12月1日 14:00～16:00 講師 佐藤会計事務所 税理士 佐藤 孝一氏</p> <p>③女性経営者の気軽な情報交換、交流の場</p> <p>第1回 平成31年1月10日 12:00～13:00</p> <p>2. 目的</p> <p>①参加者に、自社の経営のヒントや気づきを持ち帰って頂き、その後の経営の向上やモチベーションの維持に役立ててもらおう。</p> <p>②日々の経営で困ったこと、分からないことを解決してもらおう。</p> <p>③女性経営者のつながりを作り、他の経営者はどうしているかを知ることで、悩みを共有したり、コラボレーションにつなげる。</p>

活動の 効果 ・ 今後 の 取 り 組 み	<p>3. 場 所</p> <p>①、②加東市商工会、まちづくりコンソーシアム多目的ホール ③市内飲食店（フランス食堂レデ）</p> <p>4. 期 間</p> <p>平成30年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>5. 参加者数（来場者数）</p> <p>①第1回 講師1名 参加者7名 スタッフ2名 第2回 講師1名 参加者5名 スタッフ3名 ②第1回 講師1名 参加者7名 スタッフ2名 ③参加者 13名 スタッフ2名</p>
	<p>1. 活動により生まれた効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色んな女性経営者が経営に向き合っている姿を見ることで、モチベーションが上がり、日々の実践につながっている。 ・今までわからなかった会計のやり方が分かり、確定申告の準備ができるようになった。 ・参加者同士のつながりができたことで、近隣の出店イベントに誘い合ったり、仕事を依頼しあったり、直接仕事につながった。 ・女性経営者、起業希望者が交流することで、参加した起業希望者のビジョンが明確になり、起業に向けて具体的な準備に取り掛かることができ、起業を促進できた。 <p>2. 今後の取り組み予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までと同様の頻度で上記①～③を開催していく。 ・より実践を促進できるよう、自社の達成目標などを共有しあえるツール（SNSの掲示板など）を利用するしくみをつくる。

女性のための実践会議 —OHIRUMA—



発表者 植田真由子さん



ランチミーティング

女性のための実践会議 -OHIRUMA-



第1回女性経営カフェ



第2回女性経営カフェ



第1回女性経営セミナー



団体名	ふまねっとカフェ小島
代表者氏名	北吉 英俊
活動内容	<p>活動テーマ・行事名</p> <p>【楽しく身体を動かし、大きな声で笑って笑顔でつながる ふまねっとカフェ小島】</p> <p>・転倒予防と認知症予防が期待できるふまねっと運動の実施を通して、地域住民の健康や住民同士の集いや交流の場作り</p> <p><u>1. 内 容</u></p> <p>○ふまねっとカフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回（第1と第3土曜日） 10時～12時頃 開催 ・ふまねっと運動 1時間20分 茶話会 1時間 <p>○ふまねっと運動体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年11月17日 13時30分～16時開催 ・講師 理学療法士 小椋 修氏 ・ハートフル薬局共催 健康相談 <p><u>2. 目 的</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域住民がふまねっと運動を通して、介護予防（転倒予防・認知症予防）ができ、身体機能の維持・向上を目指した運動の場の提供 ②地域住民の孤立や閉じこもりを予防し、住民同士のつながりや楽しく交流ができる集いの場の提供 ③ふまねっと運動のサポーターやインストラクター・高齢者を支える地域住民のボランティア活動の場の提供 <p><u>3. 場 所</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフル・デイサービス小島 デイサービスホール 加東市屋度 736-262 <p><u>4. 期 間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月～平成31年3月 <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u></p> <p>平成30年6月～平成31年2月現在</p> <p>参加者 述べ人数 121名</p> <p>ふまねっと運動インストラクター・サポーター のべ37名</p>

活動により生まれた効果

○参加者の声より

- ・網を見て歩く歩行から、自然と足があげて歩行できることが実感され、躓かないように歩く意識が持てるようになった。
- ・こけるのが怖かったけど、ふまねっと運動をするようになってからは、右、左と一步一步の踏み出し時に意識して歩くようになったせいか、しっかりと歩けるようになり、こける事への不安が少なくなったように思う。
- ・右足や左足やと考えながら、手拍子を打ったり歌に合わせたりと難しいけど、その分、頭も使うので、身体だけではなく、頭の体操になり認知症予防になるのでうれしい。
- ・失敗するのが恥ずかしいと思ったけど、だんだんと続けるうちにみんな友達親しめるようになったので、失敗しても全然平気でかえっておおきな声で笑えあえてとても楽しい。
- ・運動のあとのお茶の時間にいろいろとおしゃべりできるのが楽しい。

活動の
効果
・
今後
の
取
り
組
み

今後の取り組み予定

- ① 第1・第3土曜（2回/月）の開催の継続
- ② 地域住民へのふまねっと運動の周知と参加の声かけにより、ふまねっとカフェ小島への参加人数拡大を目指す。
- ③ ふまねっと運動のインストラクターやサポーターの情報交換や交流の拠点の場とし、加東市住民へのふまねっと運動の周知に努める。
- ④ ふまねっとカフェ小島へ参加希望される方で移動手段のない方々の送迎方法についての検討をおこなっていく。

ふまねっとカフェ小島



発表者

井上義則さん 松浦千秋さん

友藤艶子さん 辻 清美さん

ふまねっとカフェ小島



元気に長生きするには...
理学療法士
小椋先生のお話



ふまねっと体験会
2018.11.17



ふまねっと運動のあとの茶話会



リズムに合わせて ♪



大きな声で笑って(∩∩)



団体名	三草ふれあい広場
代表者氏名	会長 臼井 純 男
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 海のまち山のまち交流事業</p> <p><u>1. 内 容</u></p> <p>① 海であそぼう！in江井島海岸 ② 交流グラウンドゴルフ大会と史跡巡り ③ 秋のスポーツフェスティバルへ模擬店出店</p> <p><u>2. 目 的</u></p> <p>他の地域特に都市部との交流を図ることにより、加東市の地域の魅力を発信し、体験してもらうことにより、互いの地域活動の活性化を図り、併せて、昼間人口の増加につなげることを目的にしています。</p> <p><u>3. 場 所</u></p> <p>① 明石市大久保町西島 明石市立少年自然の家、江井島海岸 ② 鴨川の郷、光明寺、ぽかぽ、朝光寺、朝光寺、清水寺 ③ 明石市大久保町西島 江井島小学校グラウンド</p> <p><u>4. 期 間</u></p> <p>① 平成30年9月2日(日) ② 平成30年10月25日(日) ③ 平成30年11月3日(日)</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u></p> <p>① 17名 ② 77名 ③ 12名</p>
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u></p> <p>交流の継続により年々繋がりが強くなっています。今年のグラウンドゴルフ大会+清水寺参拝を企画したところ、グラウンドゴルフをしない方々から、加東市の史跡巡りを企画してほしいとの要望があり、急遽、バスを追加借り上げて、実施しました。改めて、地域資源のPRの必要性を実感しました。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u></p> <p>今後とも継続して交流を深め、加東市をPRするとともに、昼間人口の増加につなげていきたい。農産物等の販売拠点の展開も検討したい。</p> <p>課題は、交流のバス借り上げなど交通費の負担軽減を、県市に依存しなければならないことであると思われます。</p>

三草ふれあい広場



発表者 樹梨林三さん



① 海であそぼう！in江井島海岸



② 交流グラウンドゴルフ大会と史跡巡り



③ 秋のふれあいフェスティバルへ模擬店出店

団体名	Hook (フック)
代表者氏名	藤田可奈恵
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 Hook de ツナガル FLEA MARKET 第2弾</p> <p><u>1. 内容</u> 気軽に立ち寄れるフリマの要素に加え、イベント内には加東市を知るきっかけになる内容を盛り込んだ。特産品の雛人形・鯉のぼりモチーフのワークショップや、加東市産野菜の販売、参加型の加東市マップの作成、市内の商品を景品とした抽選会などがその例。伝の助も登場し、子供たちの人気を集めた。同日開催の社高校生による『Seica』にも協力いただいた。広報活動には市内外100ヶ所ほどにチラシを配付したほか、新たにSNSを利用し、イベントの半年前から市内のお店紹介やちび伝の助を投稿して#加東市 をつけ、PR と併せて告知に励んだ。KissPRESS や神戸新聞、加東市の広報にも取り上げていただいた。</p> <p><u>2. 目的</u> 解決テーマ①より、今後移住の可能性が高いと考えられる子育て世代をターゲットに、まずは加東市の認知度アップ・加東市を知ってもらうきっかけづくりとしてイベントを企画開催。イベントを通し「ヒトとヒト」「モノとモノ」のつながりが生まれることで、後々には移住定住につながるようなイベントを企画した。</p> <p><u>3. 場所</u> やしろショッピングパーク Bio 2階多目的ホール</p> <p><u>4. 期間</u> 平成30年7月1日～平成31年2月28日 (イベント:平成31年2月10日)</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u> 約300～350名</p>
活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> 出店者・来場者問わずイベントを通じて様々な間で交流があったことで、それぞれに新しいつながりができたと思う。市外からの来場者も多く、近隣だけでなく神戸や三田、稲美町などからの来場もあり「伝の助を初めて知った」「加東市の野菜を知った」等、加東市を知ってもらうきっかけになった。SNS 投稿も、市内にとどまらず外に向けて気軽に加東市の情報発信ができた。社高校『Seica』の学生さんもおられたので、若い世代へ「加東市でもいろんなイベントができるよ」というメッセージも送れたかもしれない。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 準備から開催にあたり、反省点や改善点が多々見えてきたが、次も楽しみにしています！という声もいただき、それが活力になった。しかし、メンバー全員が仕事や家事のスキマ時間で活動に取り組んでいるため、集まる時間がなかなか取れないなど、継続を検討中。SNS の情報発信も踏まえ、今後も続けたいと思うが、現状でできる範囲で何か活動に取り組みればと考えている。</p>

Hook (フック)



イベント当日の会場の様子



ひな人形や鯉のぼりをモチーフにしたワークショップ

野菜販売



加東伝の助くん登場☆



抽選会の景品は市内の商品

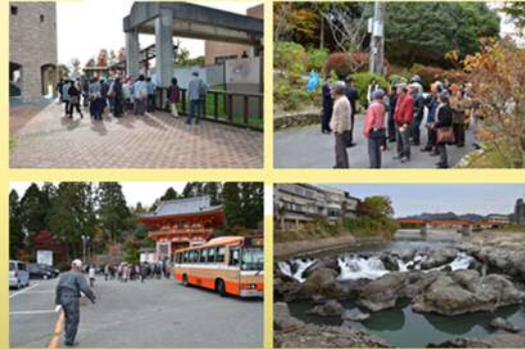
団体名	鴨川地域に人を呼び込み隊
代表者氏名	隊長 吉田 正
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 鴨川地域への観光客等の集客と加東市知名度アップ事業</p> <p><u>1. 内容</u> 京阪神地域からのバスツアーを実施し、加東市の歴史遺産「播州清水寺」「国宝朝光寺」「やしろ鴨川の郷」などへの集客を図った。ツアーの実施に際しては、神戸新聞の紙面広告や別刷チラシで募集し、地域からの情報発信を行った。</p> <p><u>2. 目的</u> 市外から観光客を呼び込み、また募集広告によって加東市の知名度を高め、集客数や交流人口の増加による地域の活性化を図ることを目的とした。</p> <p><u>3. 場所</u> 加東遺産「播州清水寺」を中心とした鴨川地域及びその周辺の地域（鴨川の郷・道の駅とうじょう・国宝朝光寺・東条湖・加古川闘龍灘など）</p> <p><u>4. 期間</u> 平成30年8月1日から平成31年1月31日まで</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> 播州清水寺二十六夜待ち法要見学・千燈会と紅葉ライトアップ見学ほか ツアー参加者225人</p>
活動の今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u> 直接的な数字は出ていないが、一つの参考として播州清水寺の参拝数の推移を聞いてみた。10年前の平成21年から年間5%程度の減少が進む中、平成30年においては、前年対比35%の増加となっている。このことは、様々な積極的な集客事業の取り組みの成果が表れた数字ではあるが、この活動もそのうちの一部を担っていると自負している。ツアーには参加できなかったけど、新聞広告と同じコースをマイカーで廻ってきましたとの報告も受けているところである。</p> <p><u>2. 今後の取り組み予定</u> 本年からの新たな取り組みであり、反省点も多くあったが、何もしなければ、集客も知名度のアップも期待できない。失敗を恐れず、今後も様々な工夫をこらして集客支援事業を行い、地域の活性化に取り組んでいきたいと思っている。</p>

鴨川地域に人を呼び込み隊



発表者 阿江孝仁さん

事業の内容・・・秋の味覚と加東市の歴史



事業の内容・・・二十六夜待ち法要を見学



事業の内容・・・二十六夜待ち法要を見学



事業の内容・・・千燈会と紅葉ライトアップ



事業の内容・・・千燈会と紅葉ライトアップ



団体名	社高等学校生活科学科2年
代表者氏名	富澤 廣平
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 テーマ解決コース 「つなぐ！加東市」</p> <p><u>1. 内容</u> 加東市内に関係のある幅広い世代の方との交流活動を通して、地域とのつながりを強め、そのつながりを基礎とした新しい特産品開発を試みた。 加東市の特産品であるやしろの桃を使用したドレッシング開発や、加東市と連携し、北播磨地域5市1町の特産品を使用した北播磨ピザの開発などを実施した。</p> <p><u>2. 目的</u> 加東市内だけでなく、北播磨地域5市1町での販売活動を通じたPR活動を行い、加東市から北播磨全体の交流人口増加につなげる。</p> <p><u>3. 場所</u> やしろショッピングパーク Bio 北播磨地域5市1町の各種イベント</p> <p><u>4. 期間</u> 平成30年4月～平成31年3月</p> <p><u>5. 参加者数（来場者数）</u> ドレッシングアンケート 50人 ピザアンケート 151人</p>
	活動の効果・今後の取り組み

社高等学校生活科学科2年



やしろの桃の収穫



やしろの桃を試食



桃ドレッシング試作①



桃ドレッシング試作②



文化祭で披露した桃ドレッシング



加東市まちづくり創造課とのWS



北播磨ピザ



親子クリスマス会

団体名	社高等学校生活科学科3年	
代表者氏名	富澤 廣平	
活動内容	<p>活動テーマ・行事名 テーマ解決コース 「教科間連携で提案する新しい観光資源」</p> <p><u>1. 内容</u> 同じ北播磨地域にある播磨農業高等学校と連携し、新しい観光資源(商品やコミュニティ)の開発を試みた。 加東市や神戸新聞旅行社の協力を得て、加東市の魅力発信を目的としたバスツアーを企画・実施した。また、北播磨地域の特産品である山田錦を使用した新しいスイーツの開発を行った。</p> <p><u>2. 目的</u> 加東市や北播磨地区のPR活動を兼ねた活動を実施し、より多くの場所、多くの方に加東市のよさを広め、交流人口の増加へつなげる。</p> <p><u>3. 場所</u> 県立社高等学校 カルメニ神戸</p> <p><u>4. 期間</u> 平成30年5月～平成31年3月</p> <p><u>5. 参加者数(来場者数)</u> 加東市の魅力発信バスツアー 46名 わが市の和菓子展 約500名</p>	
	活動の効果・今後の取り組み	<p><u>1. 活動により生まれた効果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加東市の魅力を発信するバスツアーを企画・運営したことで、神戸市在住の方をはじめ加東市に来たことがない人たちに加東市を体験していただけた。バスツアーの応募状況やアンケート結果から、新しい地域を訪れたいという需要はあると考えられる。 ● 私たち自身も当たり前で過ごしていた加東市の魅力を再認識することができたことから、地域の子ども達を巻き込んだ新しい企画の可能性を感じた。 ● 高校生だけの力では到底実現できない内容であったが、生活科学科の長い地域活動を通して生まれた、様々なつながりや多くの方の支えのおかげで実現することができ、「つながり」が地域を作り上げていくのだと実証することができた。 <p><u>2. 今後の取り組み予定</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私たち3年生は卒業してしまうが、地方創生班の活動は次の世代へ引き継がれていく。今後は加東市の魅力を発信する活動に加え、北播磨地域を巻き込んだ地域活性化案を実施していく予定である。

社高等学校生活科学科3年



播磨農業高校との話し合い



バスツアーでのお出迎え



バス内でのガイド



社高校での研究内容発表



特製弁当 兵庫五国の恵み



山田錦を使用したフィナンシェ

社高生と行く! 私たちと一緒にバスに乗って旅へ!

加東市の魅力 知りつくしやツアー
秋の加東市で食べて・遊んで・お土産ゲットで大満点♪

ぜひ在校生からバスツアーを? なんと! 社高生の特別3年の特別研修です。 社高生は別荘 北條の地産の食材でつくられたお弁当が待っています。 ツアーでは、お土産を買って帰るだけでなく、お土産を売るという体験も。 ツアーでは、お土産を買って帰るだけでなく、お土産を売るという体験も。 ツアーでは、お土産を買って帰るだけでなく、お土産を売るという体験も。

- 1 本校特別研修活動、有無出来 同様の 開催 大田忠雄先生監修による特別弁当「兵庫五国の恵み」をご用意!
- 2 秋の味覚を感じる特別弁当を堪能!
- 3 道の駅加東市で、地産の味覚をお土産に!
- 4 社員研修の経験を活かして、お土産を売るという体験も!
- 5 私たちバスツアーに同行して、楽しく遊びます!

●旅行日 **11月10日(土)** 名物限定!

●旅行代金 (バス代・昼食)
大人 4,980円
小人 2,980円 (小・中学生)

※バス代は別途1,000円(税別)です。バス代は別途1,000円(税別)です。バス代は別途1,000円(税別)です。

バスツアーのチラシ



わが市の和菓子展

3 総括



輝く加東
まちづくりコンソーシアム
会長 荒木勉さん

輝く加東まちづくりコンソーシアムの発足から、皆さまにはご支援を賜りまして、この場をお借りしましてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

加東市に限らず、まちづくりというのは、今どの地域でも盛んに取り組みがなされています。まちというのは、多くの顔を持っています。環境であったり、交通であったり、経済・財政であったり、高齢化であったり、あるいは福祉・健康等、多種多様の顔を持っています。

そのまちが自分にとっていいまちかどうかというのは、ひとりひとりで異なります。これを前提にまちづくりに取り組んでいくことが、合理的で効率的であると最近では捉えられています。

本日の発表会のコンセプトも、「ひとりひとりが主役のまちづくり」とさせていただきました。それぞれの団体が望むまちの姿があり、こだわりを持ってまちづくりを進めていこうという姿を感じることができました。

それぞれ異なる立場ではあるけれども、いいまちをつくりたいという思いは一緒です。本日のこの場は、13団体の方々によるコンソーシアム（共同体）が、実現できていたと思います。

いろんな人たちがいろんなまちの姿を望んでいるということをお互いにお互いに伝え合う、そのことによってまちづくりが進んでいくことを改めて確信をさせていただきました。

団体の活動は、参加されている人が楽しくなければ継続できないことは、目に見えています。さらに、自分たちが楽しいからこそいろんな方々にその活動内容を理解してほしいという思いがあります。

我々の活動は、目標に向かって自分で頑張る満足感と、努力の結果目標に到達できた喜びや達成感、この気持ちが相互に循環し強化されることで成り立っています。この活動に、周りの方からの激励や手助けによって触れる感動と、目的到達の際に周りの方の称賛や拍手で得られる感動が加わることで、活動の継続が可能になるといわれて言われています。 私たちが何かをずっと継続できる背景には、この4つの満足感が必要なのです。

このような場が、毎年繰り返されることによって、まちづくりに関わる方がどんどん増えていく、そのことが、今、加東市にとっても大事なことであると思っております。今後とも、皆さま方には従前に変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本当に今日はありがとうございました。

快い感情（満足感・充実感、等）が湧き出る瞬間（模式図）



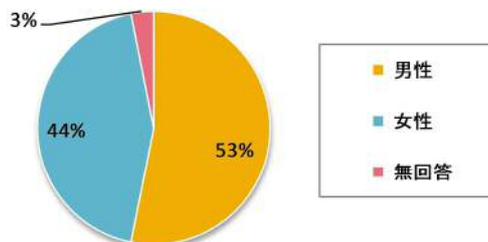
4 アンケート結果

アンケート結果 H31.3.3 市民活動発表会

来場者数 113名 回答 64名 (回答率57%)

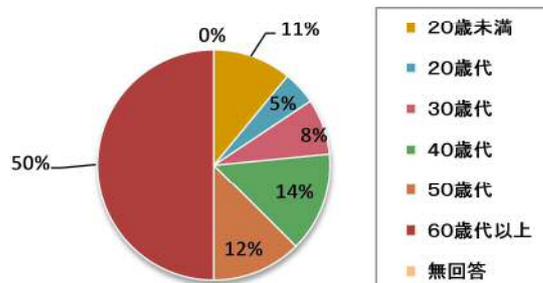
1 性別

選択肢	回答数
(1) 男性	34
(2) 女性	28
(3) 無回答	2
計	64



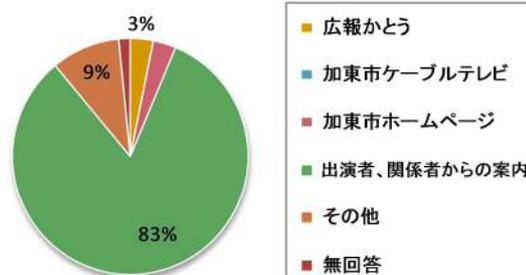
2 年齢

選択肢	回答数
(1) 20歳未満	7
(2) 20歳代	3
(3) 30歳代	5
(4) 40歳代	9
(5) 50歳代	8
(6) 60歳代以上	32
(7) 無回答	0
計	64



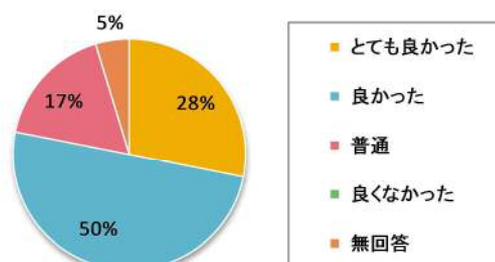
3 この発表会を何で知りましたか？

選択肢	回答数
(1) 広報かとう	2
(2) 加東市ケーブルテレビ	0
(3) 加東市ホームページ	2
(4) 出演者、関係者からの案内	53
(5) その他	6
(6) 無回答	1
計	64



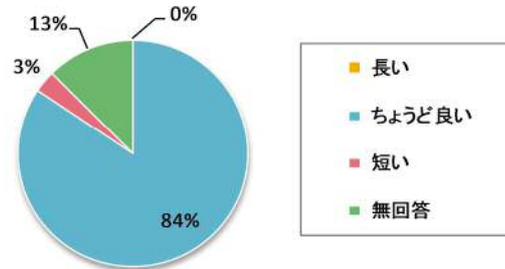
4 来場していかがでしたか？

選択肢	回答数
(1) とても良かった	18
(2) 良かった	32
(3) 普通	11
(4) 良くなかった	0
(5) 無回答	3
計	64



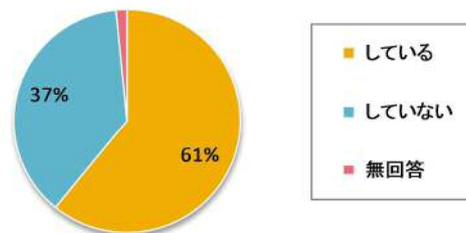
5 活動発表、意見交換の時間はいかがでしたか？

選択肢	回答数
(1) 長い	0
(2) ちょうど良い	54
(3) 短い	2
(4) 無回答	8
計	64



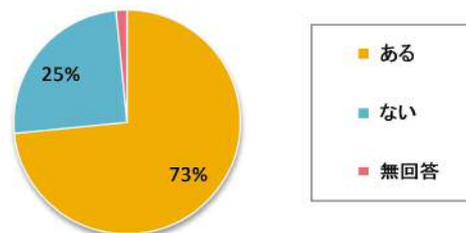
6 まちづくりや地域づくりなどに関する活動をされていますか？

選択肢	回答数
(1) している	39
(2) していない	24
(3) 無回答	1
計	64



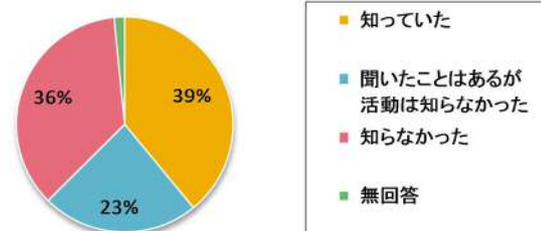
7 協働のまちづくりの大切さや、市民のみなさまの役割について考えたことがありますか？

選択肢	回答数
(1) ある	47
(2) ない	16
(3) 無回答	1
計	64



8 輝く加東まちづくりコンソーシアムについて、ご存知でしたか？

選択肢	回答数
(1) 知っていた	25
(2) 聞いたことはあるが活動は知らなかった	15
(3) 知らなかった	23
(4) 無回答	1
計	64



5 おわりに

本発表会において、出演団体、来場者から以下のような意見が寄せられました。
寄せられた意見は、加東市のまちづくりに活用させていただきます。

● まちづくり活動を活性化させていくには、どのようなことが必要だと考えますか？ ●

- 地域に愛着を持ってもらうこと。
- 地域活動との連携。参加しやすい行事等の考案。
- 若い世代が参加したくなるような取り組みを実施すること。
- 多世代の交流。
- 活動の紹介・情報発信・PR。
- 人と人とのつながり。
- 関係団体同士のネットワークづくり。
- 市の協力。お金だけでなく、情報や人脈など。
- 行政まかせにせず、市民自らがまちおこしなどアイデアを出し、活動すること。
- 行政と地域の協働。

● 発表会についてのご意見 ●

- 加東市のPRをいろんな形で実施していることは非常に良いことである。更なる活動を大いに期待します。
- 人口減少について、今後の大きな問題である。社高校の発表はとても感動した。
- 地域団体がお互いの活動を知る良い機会だと思いますので、今後も続けていただきたいです。
- 参加者が少ないことが残念に思いました。話を聞くことで自分も活動に参加してみたいと思われる方もいるかもしれません。
- 写真やパンフレット等の資料があれば、よりわかりやすかったかと思いました。可能なら成果物の配布等あれば良かったと思いました。
- 手話通訳・要約筆記について、とてもわかりやすい。



少子高齢化や人口減少社会の進行、ライフスタイルや価値観の多様化、地域コミュニティの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が変化し、市民ニーズや地域課題が複雑多様化しています。その中で、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という意識の重要性が高まっています。地域の特性を活かしたまちづくりを実現させるためには、行政だけではなく、市民の皆さまおひとりおひとりの力が不可欠です。

市民活動発表会では、それぞれの立場でまちづくり活動をされている団体から、様々な意見や問題提起をしていただきました。ふるさと加東をよりよいまちにしていこうと、様々な角度から、工夫を凝らした取組がなされています。この成果集が、市民の皆さまの新たなまちづくり活動の一助になれば幸いです。

令和元年5月 輝く加東 まちづくりコンソーシアム事務局（加東市市民協働部人権協働課）

6 輝く加東 まちづくりコンソーシアムの紹介

(1) 組織の概要

ア 目的

兵庫教育大学のあるまちの優位性を生かし、大学と行政のみならず、地域、NPO、企業など様々な主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、教育学習、人材育成及び地域発展に関する事業を行い、魅力あふれる地域社会の創造を目指す。

イ 構成団体

加東市、兵庫教育大学、加東市商工会、小野加東青年会議所、加東市いずみ会、加東市観光協会、加東市国際交流協会、加東市小学校長会、加東市中学校長会、加東市連合PTA、はあとネット、みのり農業協同組合、社高等学校、米田ふれあい協議会
(以上14団体)

アドバイザー：兵庫県北播磨県民局

(2) 取組状況

ア 地域課題解決に向けた取組

- (ア) 設立記念フォーラム (平成23年12月17日)
- (イ) 学生フェスタ「こんな加東市に住んでみたいな」 (平成24年11月11日)
- (ウ) 加東市地域公共交通フォーラム—私たちのまちの交通を考えよう—
(平成26年2月23日)
- (エ) 加東市公共施設の適正化フォーラム～未来ある子どもたちのために～
(平成27年1月24日)
- (オ) 市民活動発表会—私たちのまちづくり— (平成28年3月12日)
- (カ) 市民活動発表会—まちづくりについて考えよう— (平成29年3月19日)
- (キ) 市民活動発表会—まちづくりの輪を広げよう— (平成30年3月4日)

イ 子育て支援に関する取組

- (ア) 子育て支援講座の開催 (平成22年度から毎年度実施)

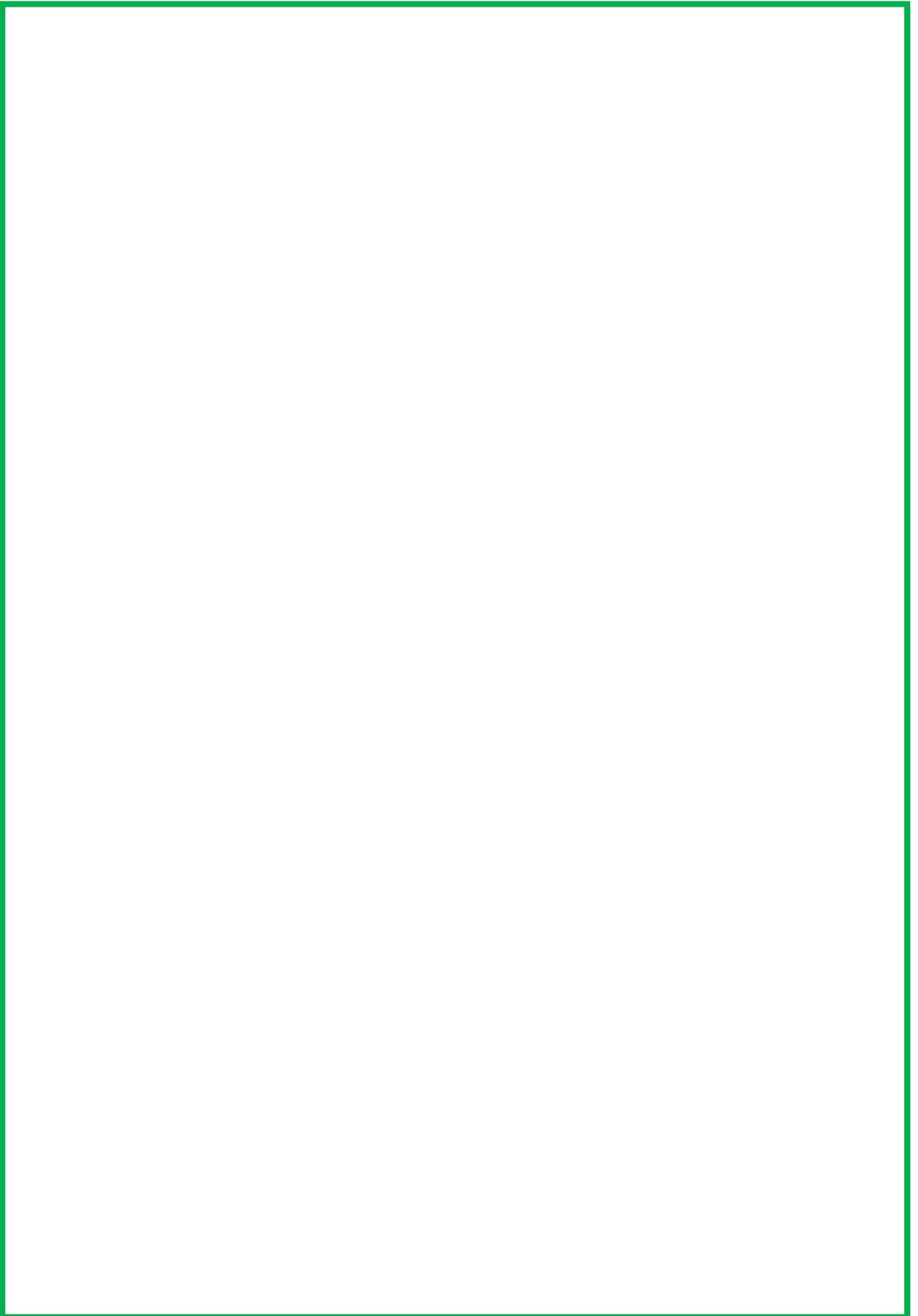
ウ 加東市・兵庫教育大学連携プロジェクト

(ア) オリジナル健康食開発

「食」の大切さについて改めて認識してもらうとともに、日常の食生活を今一度見直してもらおうと、兵庫教育大学との協働により栄養学の観点を取り入れ、加東市産の食材を使用したオリジナル健康食を開発。(いずみ会調理協力)

(イ) 「教育子午線のあるまち」モニュメント

兵庫教育大学が取り組む教員養成課程を、子午線が通る日本の中心・加東市から全国へ発信し、加東市を「教育子午線のあるまち」としてまちづくりに取り組むシンボルとしてモニュメントを設置。(設置場所：東野街角公園)



市民活動発表会
—ひとりひとりが主役のまちづくり—

令和元年5月

<編集・発行>

輝く加東 まちづくりコンソーシアム

<事務局>

加東市市民協働部人権協働課

〒673-1493 兵庫県加東市社50

TEL 0795-43-0544

FAX 0795-42-1735